

第 18 回海外安全対策セミナーを開催

2025 年 8 月 22 日



講師：
東京大学 先端科学技術センター
准教授 小泉 悠氏



セミナーの様子

海外安全対策ワーキンググループ（座長＝森 充範・丸紅(株)人事部／海外危機管理担当）は 8 月 22 日、第 18 回海外安全対策セミナーを開催しました。

東京大学 先端科学技術センター 准教授 小泉 悠氏より「ウクライナ情勢アップデート」と題する講演を受け、質疑応答を行いました。実参加、オンライン合わせて 28 名が参加しました。

<ご講演要旨>

- ① ロシアによるウクライナ侵攻は、ロシアの攻勢は激しさを増している。2025 年 8 月現在、ドンバス南東部が激しい攻撃に晒されており、ドローンやミサイルによるウクライナ全土への空襲も激化している。
- ② 一方でウクライナ側は何とか持ちこたえている状況で、戦線が崩壊するような状況には陥っていない。また開戦当初の領土失陥を除けば、ウクライナの占領された領土は全体の 1%弱である。
- ③ このような状況下での停戦交渉だが、妥結の見込みは高くない。交渉が真に本格化するタイミングは、2025 年秋以降のウクライナ国土が泥濘化する時期だが、ここで纏まらなかった場合、戦争は 5 年目に突入すると考えられる。

【本件担当・問い合わせ先】

一般社団法人日本貿易会
政策業務第三グループ